

平成26年度の主な実施事業（企画政策課）

平成27年2月末現在

主な取り組み	事業名	事業内容	予算額	決算額	事業実績・成果
庁内体制の充実	多文化共生意識啓発講座	外国人市民への行政サービスの向上を目的に、市職員を対象とした研修会を実施するもの。	10,000円	—	一般財団法人自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー派遣制度を活用し、「やさしい日本語」をテーマに、その運用方法についての知識やテクニックを学んだ。 講座終了後のアンケートでは、多くの参加者から、やさしい日本語の有効性を認識し、日常業務に取り入れていきたいとの感想を得たことから、外国人市民への対応力の強化が図られたものとする。 【参加者数】 41人
市民団体や関係機関などとの連携及び協力体制の整備	印西市国際交流協会事業支援	市の国際化推進に係る施策の一翼を担う印西市国際交流協会の事業を支援するため、補助金を交付するもの。	500,000円	500,000円 (概算払い)	印西市国際交流協会事業補助金交付要綱に基づき、補助対象となる事業に対し、50万円を概算払いとして交付した。年度末に、事業報告書をもって清算の予定。
行政サービスの充実	広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成	外国人市民への行政情報の提供を充実させるため、英語版広報紙(広報いんざいの抜粋版)を作成し発行するもの。市役所や公民館等へ設置するほか、市のホームページに掲載する。	96,000円	88,000円	広報いんざい1日号(抜粋)を英訳し、INZAI NEWS LETTERとして、毎月1回発行している。 市役所ロビー、市民課、支所、出張所、公民館、図書館、コミュニティセンターへの設置、市ホームページへの掲載、希望者への郵送を行っている。 【発行回数】 11回(4月～2月)
	外国人のための無料相談	外国人市民の生活支援として、外国人市民からの法律や生活に関する相談に対応するもの。 ※市国際交流協会との共催事業	—	—	市国際交流協会所属の行政書士が相談員となり、毎月第2金曜日の午前9時から午後4時まで、市役所内において実施している。(予約制) 【相談件数】 7件 【相談者の国籍】 日本、中国、韓国、フィリピン、アメリカ、エジプト 【相談内容】 在留資格について／配偶者のDVについて／交通事故について／国民年金について／近隣住民とのトラブルについて／離婚について
	印西市国際化推進懇談会	市の国際化関連施策に市民の声を反映させることを目的に、「印西市国際化推進懇談会設置要綱」に基づき、市内の国際交流関係者、学識経験者、公募市民、外国人市民を構成員とする会議を設置し、意見交換を図るもの。	108,000円	18,000円	第1回会議を5月に開催し、2議題について、事業報告及び意見交換を行った。 【議題】 ①平成25年度事業報告について②平成26年度実施事業について 【委員からの主な意見】 ○外国人の無料相談…周知の徹底、予約時の言語面の配慮、地域コミュニティにおける外国人ボランティアの配置など。 ○一般向け異文化理解講座…講座テーマの統一。 ○小中学校における異文化理解推進事業…未利用校での実施。

主な取り組み	事業名	事業内容	予算額	決算額	事業実績・成果
行政サービスの充実	外国人市民意識調査	平成28年度の印西市国際化推進方針改訂版の策定に向け、外国人市民の生活状況やニーズを把握するため、外国人市民を対象とした意識調査を実施するもの。	90,000円	90,000円	<p>調査票の形式は、言語面に配慮し、やさしい日本語(振り仮名付き)に英語・中国語・韓国語を併記する形とし、基本属性、ことば、保健・医療、子育て、防災、相談、地域参加、行政サービスの8分野から、計31の設問により調査を行った。</p> <p>同調査により、外国人市民の生活状況や行政に対する要望等を把握することができた。</p> <p>【調査対象】 印西市の住民基本台帳に登録されている満18歳以上の外国人市民</p> <p>【対象者数】 実質対象者1,005人(郵送数1,027人 うち宛先不明22人)</p> <p>【調査期間】 平成26年8月1日(金)～8月31日(日)</p> <p>【有効回答数(回収率)】 237通(23.6%)</p>
地域への参加の促進	外国人市民との交流事業	外国人市民が参加できるイベントを開催し、外国人を含めた市民同士の交流を促進するもの。 ※印西市国際交流協会との共催事業	—	—	<p>日本医科大学千葉北総病院、印西クリーンセンターを巡る市内バスツアーを実施し、ドクターヘリやごみ処理場を見学した。</p> <p>生活に身近な場所を見学することにより、日常生活に関する知識の向上とともに、参加者同士の交流が図れた。</p> <p>【参加者数】 21人(外国人(韓国・中国・イラク)とその家族14人、国際交流協会員7人)</p>
	日本語教室運営	外国人市民の日本語習得や交流拠点づくりに寄与することを目的に、印西市国際交流協会において、定期的に日本語教室を開催するもの。 ※市の後援事業	—	—	<p>市内の公共施設を拠点に、5クラスを運営している。学習者の日本語レベルは様々であるため、クラスの中で、ある程度レベル分けをしながら対応している。月会費は2,000円。</p> <p>【各クラスの学習者数、国籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○火曜日クラス(ふれあいセンターいんば) …5人、中国・韓国・タイ・ベルギー ○水曜日クラス(中央駅前地域交流館) …15人、中国・韓国・タイ・イギリス・フィリピン ○木曜日クラス(中央公民館) …3人、中国・ネパール・ブラジル ○土曜日クラス(ふれあい文化館) …5人、中国・タイ・フィリピン・アメリカ ○土曜日夜クラス(ふれあい文化館) …3人、アメリカ・スリランカ <p>※学習者数には、他クラスを併用する学習者を含む。</p>

主な取り組み	事業名	事業内容	予算額	決算額	事業実績・成果
学校における国際理解教育の充実	幼稚園・小中学校異文化理解推進事業	<p>子供たちの異文化理解を推進するため、市立幼稚園及び小中学校を対象に、外国人市民等を講師とする異文化理解講座を実施するもの。 ※幼稚園や小中学校からの申請により実施。</p>	200,000円	49,000円	<p>市内の小学校5校において、東京基督教大学や東京電機大学の留学生、市内在住の外国人が講師となり、日本語による母国紹介を行った。同講座により、参加者の異文化への関心や理解が高められた。</p> <p>【各学校の対象、参加者数、講師】 ①六合小学校…全校児童、100人、外国人市民2人(ベルギー・モンゴル出身) ②木刈小学校…5・6年生、111人、外国人市民4人(サウジアラビア・アメリカ・ペルー・インド出身) ③滝野小学校…5年生、75人、外国人市民2人(インドネシア・ケニア出身) ④平賀小学校…全校児童、121人、外国人市民3人(中国・韓国・マレーシア出身) ⑤本荳第一小学校…5・6年生、24人、外国人市民3人(韓国・マレーシア・モンゴル出身)</p>
地域における多文化共生意識の啓発	異文化理解講座	<p>市民の異文化理解を推進するため、一般市民を対象に、外国人市民等を講師とする異文化理解講座を定期的に実施するもの。</p>	21,000円	21,000円	<p>市内の公共施設を拠点に、7月から翌年1月(12月を除く。)まで、月1回、外国人市民による母国紹介やJICAのOBによる海外体験談の紹介を行った。同講座により、参加者の異文化への関心や理解が高められた。</p> <p>【各講座の講師、参加者数】 ①7月……外国人市民(ペルー出身)、22人 ②8月……外国人市民(ベルギー出身)、14人 ③9月……外国人市民(フィリピン出身)、10人 ④10月…外国人市民(パキスタン出身)、27人 ⑤11月…JICAのOB、12人 ⑥1月……外国人市民(ベルギー出身)、20人 ※1月は、市民アカデミーの生徒を対象に実施。</p>